

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	有機率(%)	使用目的	計画			実績				
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
ファイト	植物抽出物、硫酸アンモニウム、化成肥料、硫酸銅、魚粉、混合有機質肥料、炭素、増成養分要素配合肥料	片倉コープアグリ㈱	10		7		7		50	果実肥大	70	7/9	1	3.5	70	7/9	1	3.5
ファイト	植物抽出物、硫酸アンモニウム、化成肥料、硫酸銅、魚粉、混合有機質肥料、炭素、増成養分要素配合肥料	片倉コープアグリ㈱	10		7		7		50	果実肥大	80	11/15	1	4.0	80	11/15	1	4.0
ファイト	植物抽出物、硫酸アンモニウム、化成肥料、硫酸銅、魚粉、混合有機質肥料、炭素、増成養分要素配合肥料	片倉コープアグリ㈱	10		7		7		50	果実肥大	80	4/29	1	4.0	80	4/29	1	4.0
ファイト	植物抽出物、硫酸アンモニウム、化成肥料、硫酸銅、魚粉、混合有機質肥料、炭素、増成養分要素配合肥料	片倉コープアグリ㈱	10		7		7		50	果実肥大	80	3/1	1	4.0				

【慣行農法との比較】

*化学肥料

窒素分と比較して 当地比	6	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	40	
計画使用量	15.5	

*節減対象農薬

当地比	3	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤	8	
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	9	14

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、展着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画				実績				使用回数上限			
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺虫	ハチハチフロアブル	トルフェンピラド		ダニ	2000	700L	6/8	1	1	2000	700L	6/8	1	1	2	2
殺虫	アタックオイル	マシン油		ダニ	400	700L	6/8	1	0	400	700L	6/8	1	0	-	-
殺虫	コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン		カイガラムシ	2000	700L	7/12	1	1	2000	700L	7/12	1	1	3	3
殺虫	ダニゲッターフロアブル	スピロメシフェン		ダニ	2000	700L	7/12	1	1	2000	700L	7/12	1	1	1	1
殺虫	アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン		カイガラムシ	2000	700L	9/2	1	1	2000	700L	9/2	1	1	3	3
殺虫	ダブルフェースフロアブル	ピフルピミド・フェンピロキシメート		ダニ	2000	700L	9/2	1	2	2000	700L	9/2	1	2	1	1,1
殺虫	バリュースターフロアブル	シエピラフェン・ピリダベン		ダニ	2000	700L	3/20	1	2						1	2,1
殺虫	モスピラン水溶剤	アセタミプリド		カイガラムシ	2000	700L	3/20	1	1						3	3

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	収穫	
2月	収穫	
3月	収穫、防除予定、施肥予定	
4月	収穫、施肥	
5月	花卉水落とし	花卉水落とし
6月	防除	防除
7月	施肥、防除	施肥、防除
8月	草刈	草刈
9月	防除	防除
10月	カイガラムシ 水落とし、収穫	カイガラムシ 水落とし、収穫
11月	収穫 施肥	収穫 施肥
12月	収穫	

収穫開始:	平成29年10月1日
終了:	平成30年4月30日